

(‡

Rのつぶやき



BUUTA 押してね® 国際理解教育・国際交流・ Facebook page: 国際協力・国際観光・多文化・ 滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

2022.05.01 第25号 シンガポール国際交流員の自己紹介!

相互理解と友好を図る「

初めまして!1年間の平均温度が30度の夏しかな い、シンガポールで生まれ育ったアデリンです! 北海道在住歴6年目にして納豆が「嫌い派」で、 雪は「大好き派」の偽道産子です。2021年11月に 国際交流員として来滝しました。これからCIRの つぶやきを通して、自分とシンガポールを紹介し たいと思います。仲良くしてくださ~い

小さい頃から活発な性格で、動くことが大好きで す。中学校の頃、バレーボール部に入り、様々な 大会に参加することができました。部活動通して 「チームワークは大事だな~」と実感し、バレー ボールを5年間やりました!もっとスキルアップ させるために、ビーチバレーも何年間かやった結 果、肌は結構焼けてしまいました。シンガポール は日本と違い、中学校の部活動の実績によって、 高等教育機関に入りやすくなります。そのため、 ほとんどの人は部活動に一所懸命参加し、できる だけ沢山の大会に出るように頑張っています。



シンガポールのマックリッチ・ネイ チャートレイル(林道)でハイキング



11番選手のアデリンとチームメイト!

2013年に短期大学で幼児心理学と発達論を専攻し、 保育士になる旅を始めました。その時、オムツは どうやって交換するのか、どうやって面白く絵本 を読むのかゼロから勉強しました。泣きたくても 泣けないくらい大変なことや、泣けちゃうくらい 笑ってしまったこともありました。子どもは我が 国の未来なので、幼児教育は非常に大事ですね。 これからは語学教室や学校訪問で滝川市にいる 「日本の未来」を育てていきたいと思います。



保育士として子どもと遊んでいる様子



CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・ 国際協力・国際観光・多文化・ 相互理解と友好を図る

2022.05.01 第25号 シンガポール国際交流員の自己紹介!

2017年4月に北海道大学に入学しました。世界中の友達ができるので、自分以外の文化や言語を学び、自分の視野も広がりました。元保育士の私にとって、「教育」について研究することは当たり前のことになりました。研究は自分が興味のある英語教育をもとにシンガポールと他のアジア諸国の教育制度を比較しました。

旅行好きの私にとって、北海道だけでなく、日本のあちらこちらに行くことは大事な人とであるとことがあるとことが行するよりも、一人である。自分の足でどは合うでというでは、からに出発するでは、自分にはいるとでは、一人ではいる。そのため、大きを見落とないでは、ないでするというでは、大きを通して、私が話からない。というでは、自分の設からないます。 ないできたと思います。



北大で最初に仲良くなったオーストラリア人



日本三景の一つ、宮城県にある松島



北大敷地内でクラスメート と一緒に花見



アデリンの「庭」のルスツリゾート



冬景色!滝川市役所の前で